



漁師

生活を支える
仕事



出典：PAKUTASO

造船業



出典：海の仕事.com



船員



潜水士



海の仕事編①

さて、海に関わる仕事はたくさんあります。
何が思いつきますか？

そう、たくさんありますよね。
今回は、「生活を支える仕事」、「海を守る仕事」、「海の魅力を伝える仕事」の3つに分けて、少し皆さんに紹介したいと思います。



まずは、「生活を支える仕事」です。
私たちの生活を支えてくれている仕事というと何が思いつきますか。

最初に漁師さんが思いつくのではないでしょうか。
漁師さんや海女さんが魚を取り、私たちはその魚を食べて生活しています。
漁師さんや海女さんがいなければ、新鮮なお寿司などはなかなか食べることはできません。
一括りに漁師さんといっても、沿岸、沖合、遠洋漁業や養殖業などたくさんの違いがあります。
また、漁の方法も地引やはえ縄、一本釣りなど様々です。

つぎに、船を操舵する船員さん、もとても大事な仕事です。
日本は外国との物資(食糧や石油など)のやり取り(輸出入)のほとんどを船で行っています。
その割合はなんと99.7パーセント！なぜでしょう???
飛行機や車の方が早いかもしれませんが、船の方が一度にたくさんの量を安く(コスト)運ぶことができるからです。
船員さんがいなければ私たちの生活は成り立ちませんね。

また、船を作る造船業の人たちがいます。
船がなければ漁にも出られません。また、船による物資の運搬(輸出入)もできなくなります。
目立たないかもしれませんが、縁の下の力持ちのような存在として、私たちの生活を支えています。

さらに、島と島を繋ぐ橋ってどうやって作っていると思いますか？
水中部分の建造物を作る潜水士さんがいることも忘れてはいけません。この仕事がなければ、海の上を渡るような大きな橋が作れません。

海を守る仕事

海上保安官



海上自衛官



研究者



海の仕事編②

つぎに、「海を守る仕事」を紹介します。

「海を守る」と聞いて、何を思い浮かべますか？

海上保安官です。

海上保安官は、安全で美しい海を守るため、密漁などの海上での犯罪を取りしまったり、自然災害や事故が起こったときの救助活動をしたり、さらには船どうしの事故によって海に流れ出した油を取りのぞいたりと色々な仕事をしています。

映画やドラマで有名になった「潜水士(海猿)」の仕事も海上保安官の一つです。

つぎに、海上自衛官です。

海上自衛官は、日本の海や国民を、他の国から守るのが大きな仕事です。

例えば、日本の領海内を監視したり、武装工作船や潜水艦などからの攻撃に対して、日本の船などを守っています。

また、日本や海外で災害が起きたときは、艦艇や航空機などで、捜索・救助、救えん物資の運送なども行います。

また、研究者も海を守る仕事と言えるかもしれません。

大学や研究所、企業などで、海について研究している人が日本にはたくさんいます。

海の環境を守るために、たとえば地球温暖化の研究をしていたり、海の生物を守るために、さんごの研究をしていたりと、専門知識を活かして、日本の海のために様々な研究がされています。

このように様々な形で海を守る仕事がたくさんあります。





インストラクター

海の魅力を
伝える仕事

水中カメラマン



次の海特集は…

編集者など



水族館職員

海の仕事編③

最後に、「海の魅力を伝える仕事」を紹介します。

海はとても楽しくて、素晴らしいところです。

日本は海に囲まれていて、魚などの生物がたくさんいる海、マリンスポーツができる海、サンゴが見れる海、それぞれの地域にステキな海がたくさんあります。

だから、一人でも多くの人にその魅力を伝え、海に足を運んでもらいたいと思っています。



では、どんな仕事があるでしょうか？1つ目に、マリンスポーツのインストラクターです。

マリンスポーツにはサーフィンやヨット、ダイビングなど様々な種類がありますが、それらを教える先生がマリンスポーツのインストラクターです。

海が好きでスポーツも好きならとても魅力的な仕事かもしれません。

僕たち(私たち)B & Gのインストラクターの仕事も、君たち子供たちに海を知ってもらい、海を楽しんでもらうために、色々な活動をしています。とても魅力的な仕事ですよ！

2つ目は、水中カメラマンです。

皆さん一度はきれいな海の中の写真や映像を見たことはないですか。

そのような写真や映像を取る仕事が水中カメラマンです。

普段海の中を見ることができない人に、素敵な写真や映像を見せることで、感動を与えることができるやりがいのある仕事です。

3つ目は、海に関わる雑誌などの編集者です。

海に関わることを記事にすることで、スポーツや生物、観光など様々な海の魅力を、たくさんの人に伝えることができます。記事を書くため、色々なことを調べていく中で、自分自身も知らなかった海の魅力に改めて気づくことができるかもしれない仕事です。

最後に、水族館の職員です。

水族館の職員はただ生き物を飼育しているわけではありません。

どうすれば、生き物が快適に暮らせるのかを考えながら、私たち人間にも動物の迫力が伝わるような展示方法を取り入れるなど、私たちに海の生き物の魅力を伝えられるように努力されています。

この他にも、海に関係する仕事は、たくさんあります。

そして、海に関わるたくさんの仕事は、日本を支えるために重要な役割をはたしていることを覚えておいてください。